

さかた
し

タイムズ

ときめき・かがやき・つながる さかした



第226号

美濃坂下ライオンズクラブ チャーターナイトコンサート開催

6月21日(金)、高峰楽器製作所で、美濃坂下ライオンズクラブチャーターナイト記念日コンサートが開催され、坂下中学校の生徒137人が招待されました。

このコンサートは、1970年に美濃坂下ライオンズクラブ(会長 ほっとり よしたか 服部 義隆)がライオンズクラブ国際協会に認証(チャーター)されたことを記念して、毎年開催しているものです。

優れたアーティストの生演奏に触れ、感性を養い、地元企業に対する理解を深めることを目的に、今回は、CMソングやゲームの作曲で知られる作曲家・ギタリストの居倉健いくらけんさんがアコースティックギターやシンセサイザーなどで演奏を披露しました。

コンサートの最後に参加した生徒からは、「生演奏を聴いて、元気になり、パワーを与えるものだと感動しました。」と感想が聞かれ、コンサートを企画していただいた美濃坂下ライオンズクラブへお礼の言葉が伝えられました。



少年の主張中津川市大会

6月18日(火)、『第43回少年の主張中津川市大会“わたしの主張2024”』が中津川市アートピア付知交芸プラザホールで開催されました。

坂下中学校からは代表で3年生の吉村よしむら心奏こころさんが『光の世界へ』という題目で、堂々と落ち着いて発表されました。



坂下分団が市操法大会に出場

6月30日(日)、馬籠ふれあい広場において、第59回中津川市消防団及び第50回中津川市消防協会消防操法大会が開催されました。

当日は雨模様の天気となりましたが、坂下分団チームは第5位と好成績を収めました。

今大会の優勝は福岡分団で、10月27日(日)に開催される県大会に出場されます。



坂下分団チームの操法の様子

坂下地区コミュニティバスの車両が変わりました!

坂下地区コミュニティバスはこれまで車両の定員の問題から児童がバスに乗り切れない事態が発生していましたが、運行委託を受けている(株)サカガワ様が、バスを利用する児童達が全員乗車できるようにするため、『日野ポンチョ』を導入してくださいました。

これにより、立ち乗りを含めて定員が34人まで拡大されます。

今後とも、コミュニティバスの運行にご理解とご協力をお願いいたします。



坂下地区の集落支援員さんのご紹介



集落支援員は、地域の課題調査及び整理、移住及び定住の支援、空き家の有効活用などに取り組むため、各地域に配置されています。坂下地区の集落支援員さんは、上野自治会にしおしょういちの西尾 初 一さんです。空き家のことでお困りの方は、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ：☎75-4444
(坂下総合事務所第2庁舎)

与三郎まつり in 月の市 2024 今年も「きいら坂下」で開催！

開催日時：8月11日（日）10時～20時
場所：道の駅 きいら坂下
問い合わせ：中津川北商工会坂下支所
(事務局) ☎75-2184

与三郎音頭による盆踊りをはじめ、キッチンカーやテント販売による飲食ブース、雑貨マルシェ、大抽選会などのステージイベントを行います。



奉仕活動、ありがとうございます

6月28日（金）、坂下建設㈱（代表取締役社長 安江 貞夫）の従業員と協力会社のみなさんによって、市道坂下1号線（約2.0km）の草刈りをしていただきました。天候が優れないなかでの作業、ありがとうございました。



やさか地区青少年健全育成夏季啓発運動

7月7日（日）、『青少年の非行・被害防止全国強調月間』及び『第74回社会を明るくする運動～犯罪や非行を防止し 立ち直りを支えるチカラ～』中津川市大会がひと・まちテラスで開催され各支部から参加しました。その後、ショッピングセンターサラの駐車場で、やさか夏季街頭啓発活動を実施しました。

この事業は、やさか地区の青少年健全育成推進市民会議が中心に実施しており、『やさかの子どもはやさかで守り育てる』をスローガンに頑張っています。

吉本市のお知らせ

日にち 8月24日（土）・25日（日）
時間 9：00～20：00
場所 坂下公民館中会議室

気に入った本を無料で持ち帰れます。
どうぞご利用ください。



区長会通信

①坂下診療所・福祉センターさくら苑周辺がきれいになりました

6月15日（土）、区長会の呼びかけで、坂下診療所・福祉センターさくら苑周辺の草刈り及び剪定を行いました。当日は、134名の多くの方々に参加いただき、1時間半程度で作業を終えました。この取り組みは、日頃からお世話になっている施設に、感謝と存続・充実の願いを込めて行っており、今後も継続していきます。

参加して頂いた皆様、ありがとうございました。



②災害はいつ発生するか分かりません

地域の防災力向上のため、防災訓練に向けて、自主防災会議を開催し、住民一人一人の防災意識を高め、災害に強いまちづくりに着手して参ります。

令和6年度 区・自治会役員の訂正について

区役員 地域づくり委員長(6区)

(誤) 吉村 光邦さん → (正) 猪飼 京市さん

自治会役員 機能別消防団員(島平一自治会)

(誤) ぱく すんぎゅんさん → (正) 朴 承均さん

お詫びして訂正します

郷土文化財紹介

郷土文化財保存会会員

はやかわ ひでお
早川 英雄

＜坂下の用水物語 4 法力屋用水(タキバ用水)＞

「昭和 38 年版坂下町史」を見ると法力屋用水はタキバ用水といわれ、もともと高部に来ていたと記されています。さらに、上握は川上川の大門あたりから取水する黒岩用水を利用していたが大変に長い用水で管理に困り高部に来ていたタキバ用水(法力屋用水)と交換したと記されています。以後高部集落が黒岩用水を高部用水として整備し、上握がタキバ用水を法力屋用水として利用することとなります。「ふるさと握」には、法力屋用水が上握と下握の一部を灌漑しているとあります。

タキバ用水(法力屋用水)は外洞川の上流部字井汲で取水して、水路は中原台地の西側外洞川段丘崖を山裾から緩い勾配で外洞川に沿い字白田の裏に至り、氷坂を越えて高部字タキバに水を落とす用水でした。字タキバは高部集落の一番高いところと思われますが、ここから高部集落へ水を配分していたのでしょうか。昭和 38 年版町史によれば高部は古来高部沼と言われる大湿原地帯であったそうだから、水を満たすことよりも乾田化することが必要であったようです。高部は湧き水とタキバ用水である程度満たされていたと思われます。

ところで、タキバ用水(法力屋用水)や黒岩用水はいつ頃開削された用水と考えたらよいでしょうか。上握や高部字タキバは水の少ない所ですので、稲熊用水の成果を目の当たりにした住民たちが少ない人数で必死になって開削したと推測します。したがって稲熊用水の完成後間近い慶長年間(1596～1614年)の終わり頃のことではないでしょうか。

その後、昭和 38 年版坂下町史にあるようにタキバ用水(法力屋用水)と黒岩用水の交換がなされ、氷坂の地点で水路を変え上握へと向かう水路を中山(下原台地)の中腹に設け、外洞川字井汲で取水する全長 4 km 弱の法力屋用水ができあがったと推測しました。用水には管理をするための道が付けられます。法力屋用水に付けられた管理用の小道は生活道路としても使われたようです。井汲橋の辺りから握五社神明神社の辺りまでの用水に沿った道は祭や芝居見物の人で賑わっていたと聞きました。この頃には中外の一部でもこの用水を田に利用していたと思われます。

これらの用水開削の中心になったのは、上握字田畑吉村氏先祖と思われます。この吉村氏も三郷制が敷かれた元禄のころには下組庄屋職を務めていまし、ここより分家した字光宗寺吉村氏先祖も江戸時代中期を通して下組庄屋職を務めました。

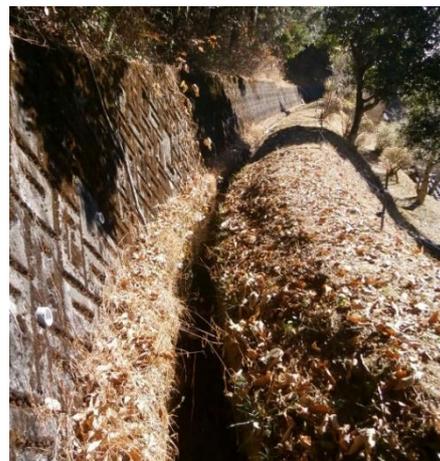
写真は新しく整備された法力屋用水の様子です。



外洞川字井汲地内の取水口。河床が下がり川右岸に新しく作られた。かつては100メートルほど下方左岸で取水していた。



川右岸から左岸へ渡り、字法力屋地内を走る水路。法力屋地内下の平を潤している。古くから、高部や握のみならず潤してきた。



字サカンの裏、外洞川の急峻な河岸段丘崖を走る法力屋用水。古くからよく整備され現役である。用水管理用の細道は草が刈られ美しい。この細道を辿れば字白田、氷坂を越え握神明神社に至る。



今の法力屋用水の終点。氷坂塞ノ神石碑のとなりへ落ちていく。かつてはこの氷坂をまたぐ鉄管があり、上握へと水を通していった。法面高所にタキバ用水の跡が残るか。



毎月第3日曜日は「家庭の日」 中津川市青少年健全育成推進市民会議

ちいきの なかま と こどもかい

坂下高校
賢・剛・優

3年生進路ガイダンス

6月14日(金)、3年生を対象として進路ガイダンスを開催し、面接・受験対策講座等を行いました。進学希望者には、大学や専門学校の方々に来ていただき、学校紹介、受験対策などの学校別説明会、個人相談や入試を意識した模擬面接をしていただきました。

就職希望者には、地元企業の方を招いて行った業種別パネルディスカッションに参加し、『企業が求める人物像』や『採用試験の内容』などの話を聞き、採用試験に向けたアドバイスをいただきました。また、採用試験さながらの模擬面接指導も行っていました。一人一人が進路に向けての意識を高める大切な機会となりました。



坂下中学校
超升先輩

やさかふるさと研修

6月6日(木)、7日(金)の2日間、1年生がスローガン『協力～最高の思い出にするためにルールを守り、元気に活動する～』のもと、やさかふるさと研修へ行ってきました。研修当日は、夕森公園での散策、大声校歌、カレー作りなど仲間と関わり合いながら活動を行いました。また2日目には、高峰楽器製作所の見学や五平餅体験などふるさとやさかの魅力について学びました。2日間の活動を通して、仲間と関わり合う機会が多く、普段の学校生活では見えてこない仲間の良さを感じることができました。今後の学校生活に活かすことを期待するとともに、ふるさとやさか地区の良さを再度見つけ直す機会になりました。



坂下小学校
ひとりだち

授業参観

6月28日(金)、今年度2回目の授業参観を開催しました。あいにくの天気でしたが、たくさんの保護者の皆さんに参加していただきました。それぞれの学年で特色のある授業を行いました。3年生は、総合的な学習の時間の授業を行いました。取り組んでいるテーマは『坂下のいいところ』。取り上げた人物は『曾我五郎十郎』さんです。江戸時代に苗木藩から高峰山を買い取り、そこから得られた森林資源で坂下の発展に尽力した人物です。授業では曾我五郎十郎氏のご子孫の曾我晴夫さんを講師にお招きして、曾我五郎十郎氏の思いや苦勞をお話していただきました。子供たちは、晴夫さんのお話に熱心に聞き入っていました。「自分たちの住む地域にそんなすごい人がいたんだ」「もっと坂下のことを知りたいな」と感想を伝えていました。



やさかこども園
かがやく瞳

年長組のデイ合宿

7月5日(金)のお泊りなしで20時まで園で過ごすデイ合宿に向けて、「電車に乗りたい!」「お宝探検をしたい!」など、年長組は、みんなで相談して、楽しい計画を立てました。年中・年少組には、探検で出てくるお化けを作ってもらいました。未満児組からは、大きくなって坊主のプレゼントが届きました。園全体でデイ合宿を盛り上げました。



当日は、七輪で火をおこし、おにぎりや、自分たちで収穫した玉ねぎ、じゃがいもなどを焼いて食べました。合宿までの取り組みのなかで、大変なこともありましたが、友達と協力して、無事に過ごすことができました。

《8月の主な行事》

日	曜日	行事名	時間	場所
11	日	与三郎まつり in 月の市 2024	10:00~20:00	道の駅きりら坂下
15	木	いきいき元気教室	13:30~14:30	坂下公民館
21	水	行政・人権相談	13:00~15:00	総合事務所第2庁舎
23	金	おはなしの会	10:00~11:00	坂下公民館
26	月	定例区長会	13:30~	総合事務所第2庁舎
30	金	やさか地区農業委員会	9:00~	坂下総合事務所
		農地相談	9:30~	

ごみの収集日

燃えるごみ	毎週月・木曜日	燃えないごみ	8月7日(水)
資源・硬質ごみ	8月14日(水)	大型ごみ	8月16日(金)
有害ごみ	8月の収集はありません。		

人口と世帯数(令和6年7月1日現在)

人口	3,997人(前月比 9人減)
	男1,948人、女2,049人
世帯数	1,642世帯(前月比 4世帯減)

編集・発行

中津川市 坂下総合事務所

電話	0573-75-2111
FAX	0573-75-4704
Mail	sakashita-office@city.nakatsugawa.lg.jp

慶弔のお知らせ

6月11日から7月10日の坂下総合事務所への届出分

○ご誕生 (敬称略)

(性別) (保護者名)
はやかわ ぜん 男 (しょうたろう) 高部一

●ご逝去

みお かよこ (52歳) 相沢

いまい りえこ (92歳) 矢淵

みやうち まさこ (75歳) 島平二

こいけ あきら (96歳) 大門

みやした すずみ (86歳) 新田

いまい ひとみ (93歳) 矢淵